

# 第一百四十五回 参議院議院運営委員会会議録第十七号

平成十一年四月二十八日(水曜日)  
午前九時三十七分開会

委員の異動

四月二十六日 辞任

四月二十七日 辞任  
藤井俊男君

補欠選任  
堀利和君

補欠選任

四月二十八日 辞任  
山下善彦君

補欠選任  
山崎正昭君

|       |       |
|-------|-------|
| 真鍋賢二君 | 利和君   |
| 山崎正昭君 | 山下善彦君 |
| 藤井俊男君 | 山崎正昭君 |
| 真鍋賢二君 | 山下善彦君 |
| 藤井俊男君 | 山崎正昭君 |

出席者は左のとおり。

委員長  
理事

岡野裕君

上野公成君

鈴木政二君

西田吉宏君

今泉昭君

薬科満治君

吉川春子君

三重野栄子君

戸田邦司君

森下博之君

委員

中川義雄君  
仲道俊哉君  
成瀬守重君

○委員長(岡野裕君) 本日の会議に付した案件  
○会計検査院法の一部を改正する法律案(衆議院提出)

○本会議における議案の趣旨説明聽取及び質疑に  
関する件  
○本日の本会議の議事に関する件

会において全会一致をもって委員会提出の法律案と決定し、同日の本会議において可決した次第であります。

何とぞ、御審議の上、御賛同をお願い申し上げ

会を開会いたします。  
まず、会計検査院法の一部を改正する法律案を議題といたします。  
提出者から趣旨説明を聴取いたします。きょうは、衆議院議院運営委員長中川秀直先生にお越しをいたしております。衆議院議院運営委員長中川秀直君。

○衆議院議員(中川秀直君) ただいま議題となりました会計検査院法の一部を改正する法律案につきまして、提案の理由及びその内容を御説明申しあげます。

本改正案は、検査官の任命等について、衆議院が同意して参議院が同意しない場合においては衆議院の同意をもって両議院の同意とする」とす

る規定を削除しようとするものであります。

なお、この法律は公布の日から施行することと

しております。

会計検査院法は、旧帝国議会時代に審議、制定されたものであり、検査官の任命等について衆議院の優越規定を置いております。当時同様の規定を設けていた人事官、公正取引委員会委員長及び同委員、国家公安委員会委員については昭和二十年代にすべて優越規定が削除されました。会計検査院法については改正の機会がなく今日に至ったものであります。

本規定を削除することについては、参議院側から再三の要請もあり、今回、参議院及び内閣官房長官とも協議の上、一般的の議会制度に関する協議会において必要な法改正措置を講ずることに各党の合意を見た次第であります。

本改正案は、昨二十七日の衆議院議院運営委員

ます。

○委員長(岡野裕君) それでは、本件につき、これより採決を行います。

会計検査院法の一部を改正する法律案、これに賛成の諸君の挙手を願います。

(賛成者挙手)

森山次夫君  
森山裕君  
山下善彦君  
高嶋貞子君  
良充君  
藤井俊男君  
前川忠夫君  
但馬久美君  
弘友和夫君  
林紀子君  
川秀直君

○委員長(岡野裕君) 全会一致と認めます。よつて、本案は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査報告書の作成につきましては、これを委員長に一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

○委員長(岡野裕君) 「異議なし」と呼ぶ者あり

○委員長(岡野裕君) 御異議ないと認め、そのよう

うに決定をいたします。

○委員長(岡野裕君) 次に、本会議における議案の趣旨説明聴取及び質疑に関する件を議題といたします。

衆議院から送付されました日本国自衛隊とア

メリカ合衆国軍隊との間における後方支援、物品

又は役務の相互の提供に関する日本国政府とアメ

リカ合衆国政府との間の協定を改正する協定の締

結について承認を求めるの件、周辺事態に際して

我が國の平和及び安全を確保するための措置に関

する法律案及び自衛隊法の一部を改正する法律

案、これらの趣旨説明及び質疑を本日の本会議に

おいて行うことについてお諮りをいたします。

本件につき、意見陳述の申し出がござります。

○吉川春子君 本日の本会議における周辺事態法

案などガイドライン関連法案の趣旨説明・質疑に

関しまして、我が党の態度を表明いたします。

我が党は、このガイドライン法案は、日本がア

メリカの軍事行動に自動的に参加する憲法違反の戦争法案であり、自治体だけでなく民間をも含めた国民全体の命運にかかる今国会の最重要法案であると考えます。

この法案を首相の訪米の手土産にしようと審議を怠ることなど論外であります。そのため強行された衆議院での修正なるものも、審議時間がたつた三時間足らずであり、その内容は国民にも十分に明らかにされ得ていません。

そのため、このような重要な法案は、審議に入るまでに修正内容も含めて十分に検討する時間が当然必要であります。このことは、同じ議案を二回審議することを通じて、衆議院だけの審議による不十分さや欠陥を補い、誤りがあればそれを止すという二院制のもとにおける参議院の責務に照らしても当然のことであります。

よって我が党は、本日の本会議での趣旨説明に反対するものであります。

以上です。

○委員長(岡野裕君) 次に、三重野栄子君。

○三重野栄子君 社会民主党・護憲連合の三重野栄子でございます。

本日質疑が行われます本会議につきまして、私どもいたしましては、新ガイドライン関連法案につきまして、特に多くの自治体からもう既に意見書が寄せられておりますし、我が党の委員会におきましての追及によりまして、法案の危険性あるいは違憲性がますます明確になっていくと理解をしています。

今後、参議院でこれらが議論されるに当たりまして、会議を開催される時間を十分とりたい。

それと、もう一点としましては、修正案が二十六日、一昨日、直前におきまして修正が採決され、そしてきのうの衆議院の本会議で採決されたわけでございますけれども、その内容について私どもはまだつまびらかにしておりません。ところが、けさ聞いたんですけれども、院の方から、修正案については提案をされない、質疑がされないというようなことを伺いまして大変疑問を持ったところでござります。

○委員長(岡野裕君) それでは、三案につき、本日の本会議において趣旨説明及び質疑を行うことになりました。我が党は、本日の本会議での趣旨説明に賛成の諸君の挙手、これを願います。

(賛成者挙手)

○委員長(岡野裕君) 多数、かように認めます。

よって、そのように決定をいたしました。

ただいま趣旨説明及び質疑を行うことを決定いたしました三案につき、自由民主党及び民主党・新緑風会おのの一人十五分、公明党、日本共産党、社会民主党・護憲連合、自由党及び参議院の会おのの一人十分の質疑を順次行うことに御異議はありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(岡野裕君) 御異議ないと認め、そのように決定をいたしました。

○委員長(岡野裕君) 次に、本日の本会議の議事に関する件を議題といたします。

○会計検査院法の一部を改正する法律案新旧対照表

○委員長(岡野裕君) 御説明申し上げます。

(参考)

会計検査院法の一部を改正する法律案新旧対照表

第四条 検査官は、両議院の同意を経て、内閣がこれを任命する。

② 検査官の任命について、衆議院が同意しない場合は、内閣がこれを任命する。

改 正 案

現 行

持ったところでござります。

しかし、この件に関し、先ほどの議連理事会において審議を進められるか、その点について、規則等々についてこれからも審議しなければならない点を思いました。

大変長くなりましたが、そういう趣旨も含めまして、本日の本会議におきましては、趣旨説明は賛成したわけでございますけれども、質疑について、十分の理解ができないということも含めまして、本日の本会議における質疑について反対をしています。

○委員長(岡野裕君) それでは、三案につき、本日の本会議において趣旨説明及び質疑を行うことになりました。我が党は、本日の本会議での趣旨説明に賛成の諸君の挙手、これを願います。

○委員長(岡野裕君) それでは、三案につき、本日の本会議において趣旨説明及び質疑を行うことになりました。我が党は、本日の本会議での趣旨説明に賛成の諸君の挙手、これを願います。

○委員長(岡野裕君) それでは、三案につき、本日の本会議において趣旨説明及び質疑を行うことになりました。我が党は、本日の本会議での趣旨説明に賛成の諸君の挙手、これを願います。

次に、日本国の大衛隊とアメリカ合衆国軍隊との間における後方支援、物品又は役務の相互の提供に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定を改正する協定の締結について承認を求めるの件、周辺事態に際して我が国の平和及び安全を確保するための措置に関する法律案及び自衛隊法の一部を改正する法律案の趣旨説明でござります。

まず、日程に追加して提出者の趣旨説明を求めることを異議の有無をもってお諮りいたします。異議がないと決しますと、高村外務大臣、野呂田国務大臣から順次趣旨説明があり、これに対応するの件、周辺事態に際して我が国の平和及び安全を確保するための措置に関する法律案及び自衛隊法の一部を改正する法律案の趣旨説明でござります。

次に、日程第一三について、国土・環境委員長が報告された後、採決いたします。

次に、先ほど本委員会を議了いたしました会計検査院法改正案の緊急上程でございます。まず、本案を日程に追加して議題とするのを異議の有無をもってお諮りいたします。異議がないと決しますと、議院運営委員長が報告された後、採決いたします。

なお、本日の議案の採決は、いずれも押しボタン式投票をもって行います。

以上をもちまして本日の議事を終了いたしました。

次に、日程第五及び第六を一括して議題とした後、外交・防衛委員長が報告されます。採決は三件を一括して行います。

次に、日程第四について、国民福祉委員長が報告された後、採決いたします。

次に、日程第五及び第六を一括して議題とした後、交通・情報通信委員長が報告されます。採決は兩案を一括して行います。

次に、日程第七について、地方行政・警察委員長が報告された後、採決いたします。

次に、日程第八について、法務委員長が報告された後、採決いたします。

次に、日程第九について、経済・産業委員長が報告された後、採決いたします。

次に、日程第一〇ないし第一一を一括して議題

とした後、総務委員長が報告及び趣旨説明をされます。採決は一回に分けて行います。まず日程第一〇を採決し、次いで日程第一一及び第一二を一括して採決いたします。

次に、日程第一三について、国土・環境委員長が報告された後、採決いたします。

次に、先ほど本委員会を議了いたしました会計

検査院法改正案の緊急上程でございます。まず、

本案を日程に追加して議題とするのを異議の有

無をもってお諮りいたします。異議がないと決し

ますと、議院運営委員長が報告された後、採決い

たします。

なあ、本日の議案の採決は、いずれも押しボタ

ン式投票をもって行います。

以上をもちまして本日の議事を終了いたしま

す。その所要時間は約三時間三十分の見込みでござります。

○委員長(岡野裕君) ただいま事務総長から説明がありましたとおり、きょうの本会議の議事を進

めることに御異議はありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(岡野裕君) 御異議ないと認め、そのよ

うに決定をいたします。

暫時休憩いたします。

午前九時四十八分休憩

(休憩後開会に至らなかつた)

請假の件  
服部 三男 雄君 海外旅行のため十二日間  
今井 澄君 同 来る五月一日から八日間  
小宮山 洋子君 同 明二十九日から八日間  
内藤 正光君 同 同  
本岡 昭次君 同 同  
直嶋 正行君 同 来る三十日から八日間

四月二十八日(水)の議事予定

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| ② 檢査官の任期が満了し、又は欠員を生じた場合において、国会が閉会中であるため又は衆議院の解散のために両議院の同意を経ことができないときは、内閣は、前項の規定にかかわらず、両議院の同意を経ないで、検査官を任命することができる。 | ③ 前項の場合においては、任命の後最初に召集される国会において、両議院の承認を求めなければならない。両議院の承認が得られなかつたときは、その検査官は、当然退官する。              | 本国憲法第六十七第二項の場合の例により、衆議院の同意を以て両議院の同意とする。   |  |
|   |   | ③ 檢査官の任期が満了し、又は欠員を生じた場合において、国会が閉会中であるため又は衆議院の解散のために両議院の同意を経ることができないときは、内閣は、第一項の規定にかかわらず、両議院の同意を経ないで、検査官を任命することができる。 | ④ 前項の場合においては、任命の後最初に召集される国会において、両議院の承認を求めなければならない。両議院の承認が得られなかつたときは、その検査官は、当然退官する。 |
| ④、⑤ (略)   | 第五条 (略)   | ④ 前項の規定は、前項の場合に、これを準用する。  |  |
|   |   | ⑤ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。   | ⑤ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。  |
| 第六条 檢査官は、他の検査官の合議により、心身の故障のため職務の執行ができないと決定され、又は職務上の義務に違反する事実があると決定された場合において、両議院の議決があつたときは、退官する。                   | 第六条 檢査官は、他の検査官の合議により、心身の故障のため職務の執行ができないと決定され、又は職務上の義務に違反する事実があると決定された場合において、両議院の議決があつたときは、退官する。 | ⑥、⑦ (略)   |  |
|   |   | ⑥ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。   | ⑥ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。  |
| 第七条 (略)   | 第八条 檢査官は、第四条第三項後段及び前二条の場合を除いては、その意に反してその官を失うことがない。  | ⑦ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。   |  |
|   |   | ⑧ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。   | ⑧ 第二項の規定は、前項の場合に、これを準用する。  |

|                          |   |   |  |   |   |                                      |                                   |  |  |   |                      |
|--------------------------|---|---|--|---|---|--------------------------------------|-----------------------------------|--|--|---|----------------------|
| 日本国との間の協定の締結について承認を求めるの件 | 日程第一 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とカナダ政府との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件 | 日程第二 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とマレーシア政府との間の協定の締結について承認を求めるの件 | 日程第三 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とスウェーデンとの間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件 | 日程第四 精神保健及び精神障害者福祉に関する事実があると決定された場合において、両議院の議決があつたときは、退官する。 | 日程第五 特定公共電気通信システム開発関連技術に関する研究開発の推進に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出) | 日程第六 通信・放送機構法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付) | 日程第七 道路交通法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付) | 日程第八 児童買春、児童ボルノに係る行為等の处罚及び児童の保護等に関する法律案(林芳正君外六名発議) | 日程第九 原子力損害の賠償に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付) | 日程第一〇 行政機関の保有する情報の公開に関する法律案(第百四十一回国会内閣提出、第百四十五回国会衆議院送付) | 日程第一一 行政機関の保有する情報の公開 |
|--------------------------|---|---|--|---|---|--------------------------------------|-----------------------------------|--|--|---|----------------------|

|  |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |
|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案(第百四十一回国会内閣提出、第百四十五回国会衆議院送付) | 会計検査院法の一部を改正する法律案(衆議院提出) |
| 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。                                 | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   | 四月二十七日本委員会に左の案件が付託された。   |
| この法律は、公布の日から施行する。                                      | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        | この法律は、公布の日から施行する。        |
| 附 则  | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      | 附 则                      |
| (予備審査のための付託は同日)  | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          | (予備審査のための付託は同日)          |

平成十一年五月七日印刷

平成十一年五月十日發行

参議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局

B